

Dr. Rein とその著書 (武田久吉) Hisayoshi TAKEDA: Dr. Rein and his publications

本誌第 416 号に載った江本博士の記事を読んで、久し振りに Dr. Rein の名にめぐり合い欣快を覚えた。廻り合ったと言ったところで、私は同博士と面識は無いので、日本では滅多に問題にされて居ないらしいこの大学者の名を見て、愉快に感じたのである。江本博士によると、Dr. Rein は明治 7, 8 年にわたり、ひろく日本各地に旅行したとあるが、白井先生の改訂増補日本博物学年表によれば、明治 7 年に来朝して、その年の 9 月 23 日に日光男体山に、更に肥後の天草に植物を採集し、また明治 10 年にも日光山に植物を探るとある。然しこの後の方の記事には何か誤りがあるように思われる。というのは、1876 年 (明治 9 年) の 10 月には、Prof. Dohrn の後をついで、Marburg 大学に赴任しているし、その少し前に日本の気候と題する論文を出している (この論文は Dr. E. Knipping の論文に次ぐもので、然も更に広汎であり、日本の気候に関する初期の重要なものなので、その英訳が Transactions of the Asiatic Society of Japan の第 6 巻に載っている)。Dr. Rein はいつ迄 Marburg にいたかよくわからないが、1884 年以前には已に Bonn に移っていて、其処の大学の教授になっている。

著書 Japan については江本博士が可なり詳しく述べて居られるから、ホンの蛇足的記事にすぎないが、その第 1 版の原書と第 1 巻の訳書を私は見ていないが、第 2 巻の英語版は訳書というのではなくて、著者自身の筆になると見る可きであろう。表題は The Industries of Japan. Together with an Account of its Agriculture, Forestry, Arts, and Commerce. From Travels and Researches undertaken at the Cost of the Prussian Government. By J. J. Rein, Professor of Geography in the University of Bonn. With forty-four Illustrations and three Maps. London: Hodder and Stoughton, 27, Paternoster Row. MDCCCLXXXIX となっている。表紙からしてが豪華版で、44 の illustrations というのは、立派な図版で、蒔絵や漆細工など、実物通りで、瞠目に値する。xii+570 pp. で本文は英国で印刷したものだが、図版は Leipzig の Wilhelm Engelmann の手に成るものである。第 1 巻第 2 版の扉にも Mit 2 Abbildungen in Text, 26 Tafeln und 4 Karten の文字が刷られている。

Dr. Rein は地理学者で、専門は地理学に相違ないのだが、日光や天草に植物を採集した記録がある通り、Japan という著述の中にも動植物から民族、民俗に及び、勿論其々の専門家の論文を参考したには違いないが、地質やら地震にも及んでいるが、それには各方面の基礎知識がなければ出来ない仕事である。滯日中の見聞を本にして、日本の数種の哺乳動物の分布 (Zoologischer Garten, 1875) や A. von Roretz と共著のハンザキに関する paper (Zoologischer Garten, 1876) もあるし、陸棲貝類の採集も行っただけで、その標品について W. Kobelt 氏の著書もある。独りでこれだけの記事を手懸け得る学者は日本には居ないであろう。(東京都千代田区 [redacted])